

ヒユ科ヒユ属

# イヌビユ (犬萹)

*Amaranthus blitum* L.

## 自生環境

畑地、道ばた など

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因



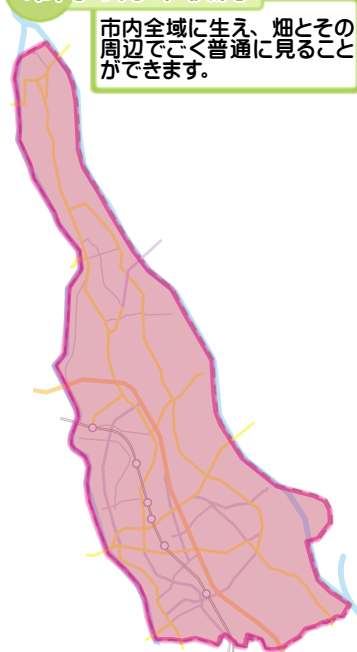
今のところ個体数も多く絶滅の心配はありませんが、生えている場所柄、除草剤などの影響を受けやすい傾向があります。また、ホソアオゲイトウなどの外来種に少し押しされ気味です。

## 特徴

- ☆ 日当たりのよい畑地にたくさん生える 1 年草です。5 月頃から芽生え、夏～秋に緑色の穂を出します。草丈は30～50 cm 程度で、直立というよりは斜めに立ちあがる傾向があります。
- ☆ 穂は緑色で、茎の先はもちろん、葉わきからも多数出穂します。雄花と雌花がありますが、1 つの穂の中に両方が混じってつきます。花びらは 3 枚、雄しべは 3 本です。果実は成熟しても緑色のままであまり硬くならず、表面にしわがあります。
- ☆ ヒユの仲間は多数の外来種が入りこんでいて、いくつもの種類が同じ場所に混じって生えていることも珍しくありません。どれもよく似ていますが、イヌビユは葉先がへこむ傾向があり、これはほかの種類にはあまり見られない特徴です。

## 市内の分布状況

市内全域に生え、畑とその周辺でよく普通に見ることができます。



## ヒユ科の代表種ヒユとは…

イヌビユの名は、ヒユに似ていてヒユではないため、否定を意味する否(いな)を頭に冠し、それが変化してイヌになったものです。ヒユはヒユ科を代表する種で、古い時代にインドより渡来した野菜です。ジャワホウレンソウ、バイアム、ひゆ菜などとも呼ばれていて、葉を食べます。今はほとんど栽培されなくなりましたが、タネは市販されています。チャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。



茎の先に  
緑色の  
花の穂をつける



果実には  
しわがあり、  
熟しても  
緑色のまま

雄しべ、  
花びら  
ともに3つ



葉の先が  
少しへこむ



葉のわきにも  
花のかたまり  
がつく



茎に毛は  
ほとんど  
生えない。  
茶色つぼく  
色つく  
こともある



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

